



別記様式第5号（第2条関係）

記 録 票

教育長	課長	主幹	課長補佐	係長	係員			
○小西	○貞盛			○中川	○坂本	○奥田	○村重	○浅井田
(関係課： )				報告者職名・氏名 課長補佐兼教育指導係長 中川 香代子				
件名 令和3年度教科用図書選定委員会				方法 <input checked="" type="checkbox"/> 来庁 <input type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他				
内容 <input checked="" type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> （こちらから）照会 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
令和3年7月30日（金）14時00分～17時30分				場所 小方学園1階研修室				
出席者	総務学事課主幹兼指導主事 村重 総務学事課課長補佐兼教育指導係長 中川 課長補佐 浅井田			相手方	【選定委員】 真鍋 和聰（小方中学校長） 畠中 和樹（学識経験者） 三上 裕子（大竹中PTA） 貞盛 倫子（教育委員会） 門戸 史洋（調査員）			
	【司会】 本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。皆さん揃われましたので、令和3年度大竹市教科用図書選定委員会を開催いたします。 なお、選定委員のみなさまには、選定委員承諾書にて「教科用図書の採択に直接の利害関係を有しない方、また特定の教科書会社との関係を有しない方」とご確認させていただいております。その後関係を有することになった方はおられますでしょうか？ （「なし」の発声あり） ありがとうございます。 また、本日の会議録は発言者を「委員」に統一して、情報公開の対象とさせていただきますので、ご承知おきください。 それでは、会の開始にあたりまして、教育長からご挨拶すべきところ、所用がございませんので、かわりに総務学事課長の貞盛が挨拶をさせていただきます。							
【総務学事課長】 みなさんこんにちは。 この度はお忙しいところ、大竹市教科用図書選定委員をご承諾いただき、心からお礼申し上げます。 昨年度、皆様方におかれましては、今中学校で使用している教科書の選定に関わっていただき、誠にありがとうございました。 しかし、社会科歴史的分野において、昨年度7者の検定本の中から最も適切な教科用図書を採択したにもかかわらず、検定本が新たに1者追加されたことから、「最も適切な教科用図書を採択する」ため、採択した教科書「東京書籍」と新たに追加した教科書「自由社」の2者のうちいずれかを採択するということになりました。								

別紙にありますように、本市教育長から本選定委員会へ、中学校用教科書社会科歴史的分野の採択について、諮問させていただきます。

本市の生徒や学校の実態に応じた教科書の選定を、十分な審議のうえ答申いただきますよう、お願いいたします。

#### 【司会】

それでは、本委員会委員のご紹介をさせていただきます。

小方中学校校長、真鍋様です。学識経験者として、元校長の畠中様です。保護者代表として、大竹中学校PTAの三上様です。大竹市教育委員会総務学事課長の貞盛でございます。

続いて、調査員のご紹介もさせていただきます。小方中学校教頭の、門戸様です。

事務局の紹介もさせていただきます。総務学事課主幹兼指導主事の村重です。総務学事課教育指導係課長補佐兼係長の中川です。私、総務学事課教育指導係の浅井田です。

よろしくお願いいたします。

お手元の資料のご確認をお願いいたします。

資料1 諮問、資料2 令和4年度使用大竹市教科用図書採択基本方針、資料3 大竹市教科用図書採択地区の採択事務に関する規約、資料4 令和4年度使用中学校教科書（社会科歴史的分野）採択に関する組織・手続について、資料5 令和4年度使用中学校教科用図書採択地区調査研究報告書 でございます。

また、参考資料として、大竹市教科用図書選定委員会（令和2年8月6日）「大竹市立中学校用教科用図書採択のための調査研究について（答申）※社会科歴史的分野に関する箇所抜粋」もつけております。

それでは、レジュメに沿って進めてまいります。

1の会長・副会長の選任についてです。

採択事務に関する規約第5条により会長1名・副会長1名を委員の互選により選出させていただきます。

どなたか努めていただける方がありましたらご発言ください。どなたもいらっしゃいませんので、事務局で提案したいと思いますがいかがでしょうか。

それでは、会長には、真鍋委員、副会長には、畠中委員にお願いできればと思います。ご賛同の方は拍手をお願いします。

（承認される）

本委員会の審議に移ります。これからの進行は会長にお願いいたします。

#### 【会長】

会長の真鍋です。円滑な進行にご協力いただきますようお願いいたします。

それでは、本日諮問を受けました1項目について審議いたしますが、初めに、教科書採択に係る概要等についての説明を、事務局にお願いします。

#### 【事務局】

それではご説明いたします。

今回の採択は、令和2年度に中学校の全種目を採択したにもかかわらず、社会科歴史的分野において新たに検定合格した教科書があることから、「最も適切な教科用図書を採択する」ため、「令和4年度大竹市使用教科用図書の採択基本方針」に基づき、再度最も適切な教科用図書を採択するものです。

この場合、令和2年度における採択の理由や検討の経緯、内容等も踏まえてもよいとされていることから、新たに発行されることになった教科書の令和2年度と同じ観点による調査研究結果と、令和2年度に採択を行った教科書の調査研究結果を審議し、2者のうちいずれかを採択する方法といたします。

採択の具体的な手順は、「大竹市教科用図書採択地区の採択事務に関する規約」及び「教科書採択に関する組織・手続きについて」に従うものとしております。

それでは「教科書採択に関する組織・手続きについて」をご覧ください。本日の会は「2 採択手続」における(3)にあたります。本日は調査員の報告に基づき新たに発行されることになった教科書「自由社」と、令和2年度において採択した教科書「東京書籍」について審議して、その結果について理由を付し、市教育委員会に答申していただくこととなります。どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、6月11日から30日まで開催しました、教科書展示会において、意見箱を設置しましたが、意見はございませんでしたので、あわせてご報告させていただきます。

#### 【会長】

それでは資料5「令和4年度使用中学校教科用図書採択地区調査研究報告書」をお開きください。「調査研究の観点」に基づき、調査員が報告書をまとめたものです。

本日は、調査員が、その教科の指導に必要な観点に基づき、社会科歴史的分野において新たに検定合格した自由社の教科書について、調査研究結果について報告します。

委員の皆さまにおかれましては、自由社及び今使っている東京書籍の実物を見ていただきながら、調査員からの報告をお聞きいただき、調査員への質問やご意見をいただきたいと思ひます。

なお、今回の調査研究は、教科書の優劣を判断するものではなく、それぞれの特徴を調べていただいたものですので、調査員に対する質問の際には、どの教科書がいいと思ひますか、などという質問はお控えいただきますようお願ひします。

それでは門戸教頭先生、よろしくお願ひいたします。

#### 【調査員】

それでは、令和4年度より中学校で使用する「社会科歴史的分野」の教科用図書の調査結果の報告をいたします。

このたび調査した教科用図書の発行者は、「自由社」の1者です。

はじめに、様式1-1をご覧ください。選定委員会からお示しいただいた、5つの観点ごとに様式1-1の枠内にあるとおり、具体的な視点を定めて調査し、様式1-2としてまとめました。

様式1-2の5つの観点に沿って長所と課題を報告させていただきます。

1つ目は「基礎・基本の定着」についてです。小单元ごとに色づけされた年表や各单元末の復習問題のページ、小学校で学んだ人物の振り返りなど、基本的な学習内容が定着す

るよう工夫がなされています。一方で、「この教科書で使うマークとロゴの紹介」では、記号の説明はありますが、教科書を使用する際の章の構成などの説明がなされていません。

2つ目は、「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。生徒の意欲を高めるためのチャレンジ課題の設定や各単元末に「調べ学習のページ」や「時代の特徴を考えるページ」等を設け、情報を集めたり、読み取ったりする技能を高める工夫がなされています。一方で、1単位時間の学習の「学習課題」はありますが、各章の学習を貫く「探究課題」は設定されていません。また、二次元コードが設けられておらず、関連するサイトにアクセスできません。

3つ目は、「内容の構成・配列・分量」についてです。1時間で扱う内容が全て2ページにまとめられており、理解しやすい構成となっています。また、調べ学習のページでは「原子爆弾の被害を考えよう！」をテーマに、原爆の破壊力や日米両政府の声明、広島、長崎の被害の様子についても詳しく記載されていました。

4つ目は、「内容の表現・表記」についてです。章末の「まとめ図」と次章の初めの予告編がつながっており、流れがつかみやすくなっています。一方で、難しい言葉を用いた表現が多く、生徒にとって内容の理解が困難であると思われる。

5つ目は、「言語活動の充実」についてです。章末ごとに書いたり、話し合ったりする活動を取り入れられるページが設けられています。一方で「対話とまとめ図のページ」は、生徒の対話を促すものにはなっていませんでした。

いずれにしても、選定委員の皆様には、私どもの調査を御参考にしていただき、子供たちにとって最もふさわしい教科用図書をお選びいただくことをお願いいたしました。調査書の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

#### 【会長】

門戸教頭先生、ありがとうございました。

委員のみなさま、質疑応答をお願いいたします。

#### 【質疑応答】

(委) 自由社は2次元コードが設けられておらず関連するサイトにアクセスできないとあるが、それでは東京書籍ではどのようなサイトにアクセスできるのか。

(調) 学習に関するアドレスに接続され、つぎのステップにつながる学習ができる。2次元コードがついている発行者は東書、教出、帝国、山川、日文である。ついていない発行者は育鵬社、学び舎、自由社である。

#### 【会長】

(他の質問がないことを確認した後)

選定資料の審議については、本日はここまでとしたいと思います、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは、門戸教頭先生、お忙しいところありがとうございました。

(調査員退席)

それでは、レシユメ3 協議題の(3) 答申案の協議として、8月の大竹市教育委員会定例会に議案として提出する答申案について協議していただきたいと思います。

事務局より説明を求めます。

#### 【事務局】

「採択に関する組織・手続について」で定めておりますとおり、今から自由社と今使っている東京書籍について審議し、その結果について理由をつけて市教育委員会に答申していただきます。

なお、答申する形として、可能な限り1者のみをご選定ください。1つに絞るのがどうしても難しい場合は、順位付けした形でご選定ください。

#### 【会長】

それでは、審議いただきたいと思います。

その前に、去年の選定委員会で東京書籍を答申する際に、選定委員からどのような意見が出たのか、そして東京書籍を答申した理由を教えてください。

#### 【事務局】

選定委員様から2つの意見をいただきました。

一つ目は、「地域の歴史を調べよう」の中で、大竹市も平和学習について沖縄との交流もあるし、被爆地広島について言及されていることだけを考えても東書が良いと思う、という意見でした。

もう一つは、東書は、他者と比較して、「探究のステップ」において、まずメインエスチョンがあって、サブエスチョンで「どのように」と考えさせて、メインエスチョンを解決させるという流れ、根拠等を整理させている。そういう一貫した構成が良い。「探究課題」でその時代の特色をトータルでまとめるようにしている、という意見でした。

このことをうけて、選定委員会ではつぎの3つの理由で東京書籍を答申しました。

理由1は、各章・各節の学習を貫く「探究課題」を詳細かつ明確に示し、さらに1単位時間の学習の「学習課題」が設定され、章の終わりには「探究のステップ」において、まとめる手順も示されている、でした。

理由2は、「地域の歴史を調べよう」の中で、地域の復興と平和への思いの視点から、被爆地広島についての調査を紹介している、でした。

理由3は、地理的分野と同様に、学習課題がしっかり立てられており、生徒にとって課題発見・解決学習が進めやすい作りになっている、でした。

#### 【会長】

それでは、大竹市の子供たちが歴史的分野を学ぶ上で、東京書籍と自由社のうちどちらがふさわしいか、みなさんにご審議いただきたいと思います。

#### 【審議】

(委) 昨年度、他者と比較をして東書を推薦することとし、東書の良いところを挙げたが、自由社は東書を推薦した理由を越す要素がない。一番の特徴として、探究課題

の部分では、東書はバランスよく設定されているが、自由社は最初のところしか設定されていない。

- (委) 東書は課題発見・解決学習になるような、章のまとめのところに投げかけがあって、子どもたちの主体的な学びにつながるような教科書の構成になっている。これから学習指導要領等で求められている学習の進め方ができるつくりになっている。自由社は単元末にどんな時代だったんだろうという投げかけがあるが、内容をみるとそこに答えが書いてあり、読みとる構成になっている。東書の方が主体的な学びにつながる構成になっている。
- (委) 東書の方が章ごとの学習の問い、つまり時代の特色を問う問いがメインであって、後に節ごとのなぜの問いがあって、その下にどのような事実を問う問いがある。問いの構成に意図がある。章の最後にはメインクエスチョンとサブクエスチョンに答えさせる欄がある。
- (委) 自由社は投げかけがあるが答えが書いてある。たとえば、宗教はどのように発生したかの問いに教科書の説明文を読めばわかるようになっており、事実を取り出して答えるというようになっており、国語のようである。問いのとおりすすめていく授業になり、課題発見・解決学習につながらない。主体的な学びという教科書としての構成は、東京書籍の方がふさわしい。
- (委) 東書の推薦理由で、被爆地広島についての調査を紹介している点を挙げているが、自由社においても、(2)内容の構成・配列・分量での「単元末の「調べ学習のページ」に被爆地広島、長崎の被害についての記述がくわしく記載されている」ことが長所として挙げられている。この点の違いについて、皆さんどう思われますか。
- (委) 自由社は、場面的に被爆地広島について詳しく書いているのだが、アジアの独立、特攻隊、戦争の被害、戦犯の取扱いなど、とすべて被害者の視点で書かれており、客観性公平性がない。戦争が日本の被害という視点で書かれている。なぜここまでになったのかということが歴史で大事なことだが、正当化していることが気になる。学徒動員の写真、東京大空襲の死者の数についてもどういう意図で書かれているのか、同じ資料を使用しても、記述によってうけとめが違う。
- (委) 逆をいえば、東書の方が公正かつ客観的に記述してあり、これが大事なことであるといえる。
- (委) 平和のページについて、自由社が記述する事実を羅列しており、東書は学習方法の視点を取り入れながら記述がされており、調べようという書き方をしている。
- (委) 平和は事例として扱うべきものであり、どう学んでいくかが大事である。
- (委) 歴史はこの視点が大事である。
- (委) 東京書籍は、パッとみて、調べようというところの書き方が子供にとってわかりやすいと思った。

**【議長】**

それでは採決をとらせていただきます。

「協議の結果、東京書籍を選定してよろしいでしょうか。」

(異議なしの声)

「また、選定理由については、前回の選定委員会理由と、先ほど頂いたご意見の、戦争に関して自由社と比較して公正かつ客観的な記述がされている、を合わせたものでよろしいでしょうか」

(異議なしの声)

その他事務局から何かありましたらよろしく申し上げます。

#### 【司会】

本日の協議結果を、「大竹市教科用図書採択地区選定委員会答申まとめ」として整理し、その後ろに「令和4年度使用中学校教科用図書採択地区調査研究報告書」の中から東京書籍及び自由社の特徴のうち、顕著な事項を要約した様式2をそのまま整理したものを合わせる格好で、事務局において教育委員会に対する答申案をまとめます。

8月20日の教育委員会定例会議へは、真鍋会長にご出席いただき、教育委員会に対する答申を行い、教育委員会における審議を経た上で、教育委員会として令和4年度から使用する中学校教科用図書社会科歴史的分野を正式に採択するという流れです。

その後、事務局においては、採択結果を県教委に報告し、さらに、採択結果とその選定理由、また、会議録や名簿、教科用図書の研究のために作成した資料等について、市広報や市ホームページ、また、市役所2階の情報公開コーナーにおいて公表する予定です。

皆さんにこれまでお配りした資料は、全てマル秘資料ですので、お帰りの際には、全て机の上に置いて帰っていただきますようよろしくお願いいたします。

なお、真鍋会長におきましては、教育委員会へ答申していただくということもありますので、もう暫くお持ちいただきますよう、よろしくお願いいたします。

#### 【会長】

皆様、本日はどうもお疲れ様でした。

皆様のご協力によりまして、選定委員会を無事終えることができました。誠にありがとうございました。

#### 【司会】

真鍋校長先生、ありがとうございました。

最後に、総務学事課長の貞盛より皆様方にお礼を申し上げます。

#### 【課長】

選定委員の皆様には、公平公正な視点に立って十分にご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。また、今日にいたるまで教科書をしっかり読んでいただく等、十分にご準備をいただき重ねてお礼申し上げます。いただいた意見を答申としてまとめまして、採択の手続きを進めてまいりたいと思います。今日はありがとうございました。